

## 門真市海外派遣研修

～Team possibilities are infinite!～

『帰国後交流会』を開催しました。

日時 2018年8月25日(土)

午後1時30分～3時30分

場所 門真市民プラザ 4階  
教育センター 研修室

出席者 久木元秀平教育長  
長澤信之教育長職務代理者  
土川好子教育委員  
高橋元教育委員  
武中由紀子教諭(第五中学校)  
山下祐輝(社会教育課)

海外派遣研修生

徳弘 璃乃(第二中学校)  
中筋 美羽(第二中学校)  
山下 愛紗(第五中学校)  
山田 萌々夏(門真はすはな中学校)  
結南 帆乃夏(門真はすはな中学校)



<山下祐輝> それでは、先程の海外派遣研修報告に続き、懇談会を始めていきたいと思います。教育委員の皆様、何かご質問等ございますでしょうか？



<長澤教育長職務代理者> よろしいですか。山田さんに聞きたいのですが、先程の報告会の中で、ホームステイ先に猫20匹いたと言っていましたね。その中に保護猫もいたと。いま日本でも野良猫を保護猫として守っていきこうという運動が流行ってきています。日本の場合、耳にカットするのですが、向こうはどうでしたか？



<山田> 耳にカットはしてなかったです。みんなちゃんと「去勢」はしてあると話してくれました。



<長澤教育長職務代理者> それは、見ただけで分かるのですか？例えば、家の外に出て、これは野良猫かどうか分からないということですか？

<山田> 野良猫自体そんなにいなかったです。ホストマザーが、猫を大切にしている、夜、けっこう車で行ったところまで、野良猫にエサをやりに行くんです。ちゃんとみんなに名前を付けていて、把握しているみたいです。住宅街では、野良猫はあまり見なかったです。

＜長澤教育長職務代理者＞結南さんに聞きたいのですが、ワラビーとカンガルーの違いは、ぱっと見て分かるものですか？

＜結南＞はい、分かります。



＜長澤教育長職務代理者＞どこで分かるのですか？

＜結南＞ワラビーの方が小さくて、そして、ワラビーは基本的に模様が黒くて、カンガルーは大きくて、普通に茶色とか白色とか、あんまり模様が無い、一色っていうところで見分けをつけます。

＜長澤教育長職務代理者＞前回や前々回の研修生は、昼休みにお菓子をむしゃむしゃ食べていたので、驚いたとおっしゃっていました。皆さんが気づいた文化の違いや学校生活の違いなど、ちょっと日本と文化が違うと思ったところ、気付いたところがあれば、教えてください。

＜山下愛紗＞授業中、日本だったら、携帯持って来るのもいけないし、先生に言わないと授業中立つて歩いたりしてはいけないですけど、オーストラリアの人は、理科の実験で顕微鏡を覗いたりしたやつを写真で撮ったりして、そこから絵を描いたり、板書をカメラで写真撮って、それを写したりもしてたので、自由でいいなと思いました。



＜長澤教育長職務代理者＞そういうのは羨ましいですか？

＜山下愛紗＞はい。

＜結南＞ショッピングモールに行った時に、バナナが売っていて、普通日本って、一房ずつ袋に入れて売っていますが、オーストラリアは袋に入っていないんです。そのままの状態であって、左に黄色い熟しているバナナ、右に熟していない青いバナナが置いてありました。一房ずつ取って買うのかなと思っていたら、ホストマザーがいきなり一房取って、引き裂いて、好きな本数だけ取っていました。「それ、ありなんだ」と思って、カルチャーショックを受けました。

＜高橋教育委員＞なかなか楽しそうで、よく伝わってきました。コアラを抱えている写真を見た時、じっとしているので、ぬいぐるみかなと思いました。大丈夫でしたか？動かなかったですか？



<武中>重たかったです。そして、怖かったです。私だけかな。



<山田>ユーカリをずっと食べているので、ユーカリの匂いがしました。ユーカリの匂いがめっちゃすると思って、ユーカリをちぎって、私も匂いをかいでみました。でも、みんなにあまり理解してもらえなかったです。

<久木元教育長>徳弘さんに聞きたいのですが、日本文化を伝えるという授業をやったのかな？何を伝えたのですか？



<徳弘>折り紙とお手玉と漢字で、私は折り紙を担当して、鶴とか作って、手裏剣が一番人気でした。



<久木元教育長>手裏剣は何に使う物かななどの説明はどのようにしましたか？

<徳弘>投げるというジェスチャーで伝えました。

<久木元教育長>忍者とは言わなかったの？

<徳弘>言いました。

<久木元教育長>忍者は通じましたか？

<徳弘>はい。漢字のチームでやった後に来てくれた子で、漢字で「忍者」って書いている子がいました。

<山田>サスケっていう番組があるじゃないですか？日本のあれを忍者って呼んでいました。だから、なんか忍者の認知度が高く、大体忍者っていえば強い、カッコいいというイメージで、伝わっている感じでした。

<久木元教育長>今、世界で、忍者村が流行っているみたいですね。サスケっていう番組は向こうでもやっているの？

<山下祐輝>タイトルが“Ninja Warrior”で、Ninja！Ninja！って皆、言っていました。

<久木元教育長>なるほど、分かりました。山下さんは、優しく言葉の指導をしてもらったようですが、どんな感じで指導してもらったのですか？

<山下愛紗>正しい意味だと思って使った単語に対して、発音が違うよって言われ

て、本当の発音を教えてくれたりしました。単語も日本語でグーグルで調べて打ってきて、「これ、mean なになに」みたいな感じで優しく教えてくれました。

<久木元教育長>海外から来た人に日本語を教える時もそんな感じでできるのかな。

<山下愛紗>できると思います。

<久木元教育長>中筋さんに聞きたいのですが、ダンスの授業で何か番号で創作して踊ると言っていました、どんなことをするのですか？

<中筋>0はこのダンス、この振り付け、というような感じで、番号ごとに5秒くらいの振り付けがあるんです。バディの番号が、0と8だったら、0と8を組み合わせ、練習してオリジナルのものを作って、みんなの前で発表するというのがあって、それでめっちゃ仲が深まりました。



<久木元教育長>それは0から9まで10種類あるんですか？

<中筋>あります。

<久木元教育長>大変ですね。バディはみんな覚えているの？

<中筋>黒板にみんな書いてあるので、それを見て覚えました。

<久木元教育長>それ日本でもできますね？

<中筋>できます。でも、0から9番までのダンス覚えてないです。もう、忘れちゃいました。

<久木元教育長>山田さん、韓国の子と一緒に言ったと言っていました、韓国の言葉を教えてもらったのですか？

<山田>はい。少しだけ。

<久木元教育長>英語ではしゃべらなかったの？

<山田>英語でしゃべっているんですが、韓国の2人が会話をする時は、韓国語でした。

<久木元教育長>韓国の方は2人いたんですか？

<山田>はい。韓国の2人と私の3人がホストファミリーの家にはいました。もちろんホストファミリーは英語で、みんなにいるときは英語でしゃべるんですけど、その2人は韓国語でしゃべっているの、ちょっと教えてもらったんですが、ほとんど忘れちゃいました。

<久木元教育長>韓国の方と意思疎通を図ろうとする時は英語で話したんですね。で

きました？

＜山田＞一応できました。でも、韓国語も、しゃべれないんですけど、なんか聞いていると、何か言っていることがうっすらわかるなっていう感じになって、不思議だなんて思って聞いていました。

＜久木元教育長＞韓国語も意外と勉強しやすいみたいですからね。

＜山田＞文法が日本語と似ていて勉強しやすい言語だと聞きました。

＜久木元教育長＞結南さんは報告会では非常に写真をいっぱい撮って、すごく人に伝えたいという気持ちが伝わってきました。日本に帰ってきて、友達に一番何を伝えたいですか？

＜結南＞伝えようって気持ちが大事だというのを伝えたいです。

＜久木元教育長＞気持ちが大事ってことを伝えたい？

＜結南＞はい。

＜久木元教育長＞なるほど。深いですね。

＜結南＞プレゼンで空手の型をやったり、会話でジェスチャーを使って分かったんですけど、口で伝わらない事でも体で動かしたり、伝えようという気持ちがあつたら向こうもなんとか理解しようとしてくれるから、スムーズに進みやすいのかなって思い

ました。

＜久木元教育長＞なるほど。ありがとうございます。

＜高橋教育委員＞日本との食文化もだいぶ違うと思うのですが、行って食べたものでこれは美味しかったというのと、これはちょっと無理だったなというものがあれば教えてください。



＜中筋＞私のホストマザーは、ベトナム人で、食べ物とかもお米みたいなのが出てきたり、けっこうアジア系の食事だったので、日本と近くて食べやすく嫌いな食べ物は一つも出てきませんでした。

＜高橋教育委員＞他に何かありますか？

＜徳弘＞私のところは毎日チキンとかポテトとか想像していたものばかりで、すごく味が濃かったですが、すごく美味しかったです。でも、のどが渇いて、ずっと水くださいみたいな感じになりました。

＜高橋教育委員＞これはちょっと無理だったなみたいなのはなかったですか？

＜徳弘＞全部おいしかったです。

＜山下愛紗＞日本では、普通ソーセージとかウインナーはスーパーで買うのが一番多

と思うんですけど、オーストラリアでは、自家製ソーセージとか、自家製の桃の缶詰とかトマトの缶詰とかオリーブオイルとか作っていて、晩御飯に出てくるものも自家製のものが多くて、オーガニックだなと思いました。

<山田>私のホストファミリーの食事中に黄色い水が出てくるんですよ。飲んでも味がよく分からなくて、え一何の水なんやろうと思って、何からできてるんですかって聞いても、何かよく分からんこと言われて、結局何の水だったんだろうっていうものがありました。ポットに入って出てきたから何も書いてないし、しかも、果肉も入っている感じじゃないし、味もよく分からなくて、なんか怖かったけど、それは美味しかったです。

<久木元教育長>それを向こうの人は飲んでるんですか？

<山田>はい。普通に味はおいしかったです。でも、謎のままです。あと、なんかベジマイトっていう黒い、発酵食品っぽいやつを出してもらいました。

<武中>ベジマイト、私は美味しかったです。つける量が大事らしくて、つけすぎるとおいしくないって言われました。

<山下祐輝>なんか塩っからかったです。

<武中>後味は甘かったです。

<山田>無理なことを察してか、4分の1

くらい出してくれたんですけど、私には無理でした。韓国の子は普通に食べていて、似ている食べ物があるみたいなことを韓国語で話していました。ぬかを腐らせたみたいな感じで、奈良漬にも近いようで、結局、何だったんだろうっていう感じでした。

<山下祐輝>元々は、戦後の栄養不足の時に、健康維持のために作られたと聞きました。ビタミンBとか書いてありました。



<武中>そうそう。体にいいんだと思いました。バターたっぷりとベジマイトちょっぴり塗るとすごく美味しい。配合が大事。ホストファミリーがカウンセラーみたいな仕事をしているんですが、元家庭科の先生だったんです。

<結南>まずオーストラリアの食パンがめっちゃ薄くて、日本の半分くらいしかないんですよ。パンケーキも薄くてクレープ生地かっていうくらいでした。めっちゃ薄かったです。ピザはおいしかったんですけど、パスタのちょっと変わったなんか丸いパスタみたいな、餃子型のパスタみたいな。マカロニっぽい。

<武中>何とかシェル？

<結南>何とかシェルみたいなのがあって、中に緑色の物が入っていて、全然美味しく

なかったです。

<山下愛紗>日本だったら食べ残したご飯とか、冷蔵庫に入れたり、もったいないけど捨てちゃう人も多いと思うんです。私のホストファミリーは何でも残飯や残りのご飯を犬にあげちゃうんです。野菜も。ペットの犬がチャーリーっていうんですけど、「チャーリー」って言って、お皿に何でも入れてあげてたので、びっくりしました。

<高橋教育委員>ペットフードとか食べさせてないの？

<山下>ペットフードと混ぜていました。残りのご飯が多い日は、それだけやったけど、ペットフードに残りのおかずを混ぜていました。

<山田>うちの家は、たぶん猫 20 匹に大きい犬が 2 匹いたんです。なんか鳥の骨に生肉がついた感じの物を犬にあげてました。しかも野良猫にもそれをあげていました。

<武中>大きいやつ？

<山田>手羽先の肉がないような感じのもので。犬が食事中ガリガリ音を立てていたので、怖かったです。

<結南>うちのファミリーもすぐに犬にあげるんですよ。でも、ちゃんと玉ねぎは除けてました。

<山下愛紗>最後の日にレストランに連れて行ってもらったんです。頼んだ物の量が

多くて、ホストマザーが店員さんを呼んで、ドギーバックというご飯を持ち帰るやつをもらってました。日本にはそういうのが無いので、もし、そういうのを取り入れたら、食品ロスが無くなっていいんじゃないかなと思いました。

<土川教育委員>いいですか？アデレードってどんな街ですか？



<山下愛紗>自然がすごく多くて、空気がおいしくて、すごくきれいな街でした！

<土川教育委員>他の人は？

<結南>自然がいっぱいということで共通してるんですけど、なんかコアラが出てくるらしいんですよ。

<土川教育委員>ええー！家の近くに？

<結南>2ヶ月か3ヶ月くらい前に、コアラがオーストラリアのショッピングモールに侵入して、ショッピング内が大パニックになるっていう話があったらしいです。

<土川教育委員>速く動くんですか？

<結南>走るの早いんです。

<土川教育委員>そうなんですか！？じっ

と抱かされているイメージしかなかったです。

<結南>コアラもやる気があれば走るんです。

<土川委員>住んでいる所が自然の中にあるという感じなんですか？

<結南>自然公園が多くて、木がいっぱい生えてるところがあったりして、そこにコアラが登ってくる感じです。

<土川教育委員>コアラはたくさんいるんですか？

<山田>滝を見に行ったときに、多分、保護区ではあると思うんですけど、なんか普通に歩いててもコアラ、コアラみたいな感じで、結構いました。けっこうな街なかでも、コアラ注意の看板があったりしました。



<土川教育委員>なんで注意しないといけないのですか？

<山田>コアラが渡ったりするみたいです。聞いた話だと、コアラがゆっくり渡るときがあって、そのときは交通渋滞が起こるとい話を聞きました。

<土川教育委員>次に、中筋さんに聞きたいのですが、報告会で、英語が最初上手く

しゃべれなくて、親切にしてもらって、英語を理解してくれたと、言われたけど、英語に対して親切にもらうってどういうことですか？

<中筋>バディは、最初は、けっこう早いスピードで話してたんですけど、理解できなくて、分からないって言ったら結構簡単な単語を使ってくれたりしました。本当に分からない時はグーグル翻訳を使ってくれて、絶対話の最後に理解した？って聞いてくれて。めっちゃ優しかったです。

<土川教育委員>そういう所から中筋さん自身が変わったところとか、見習ったらいなと思う部分はありますか？

<中筋>悔しく思いました。そうしてもらわないと理解できない自分が悔しかったです。だから、もっと勉強して、最初のめっちゃ速いスピードでも理解できるようになりたいと思いました。

<土川教育委員>ありがとうございます。行く前と行ってからと、自分自身変わった所があるとしたら、どういうところでしょうか？

<山下愛紗>授業で英語を習っていて、初め普通に英語が好きってだけやったけど、オーストラリア行ってからもっと勉強して、次またオーストラリアや他の国に行く機会があったとしたら、次はもっと1回で聞き取れるようになったり、もっとたくさんの人と話したいなと思って、行ってから、英語の勉強の意欲がもっと高くなりました。

＜結南＞塾でリスニングテストがあるんですが、今まで何言ってるか全然分からなくて、20点中5点でした。帰ってきてからテスト受けたら満点取れました。やっぱりリスニング力上がってるのかなって思いました。15点アップはすごいと思いました。

＜徳弘＞私も塾で、オーストラリア行く前にどんなことをしたいとかいうのを英語で書いてみたりしたんですが、もう文法がぐちゃぐちゃって言われました。帰ってきてからどうやったかみたいなことを書いたら、不思議と綺麗になってるって言われました。正しく書けてる。どーしたの？みたいなこと言われて、すごくびっくりしました。嬉しかったです。



＜土川教育委員＞以前、行ってこられた方のお話の中で、英語の映画を観ていて、耳に入ってこなかったのが、オーストラリアに行ったら帰ってきたら耳に入ってくるようになって、分かるようになった。英語の映画が観れるようになったとおっしゃっていました。1回皆さんも、挑戦してみてください。集中したら意外と分かるかもしれません。ありがとうございます。

＜長澤教育長職務代理者＞ちょっと武中先生にお聞きしたいのですが、先程、文法の話がありましたが、私の知人が、メルボルン

ンやシドニーに派遣された時に言われたことですが、日本の中学生に教えているのはアメリカ英語だと、オーストラリアでは通じない、ここはイギリス英語ですと、そういう話を聞いたことがあるんですが、何か感じましたか？

＜武中＞毎日、朝、学校に集合するんですけど、そのときにみんなが口々に「die」って言われたというんです。オーストラリアでは、「day (デイ)」を「ダイ」って発音するんです。「same (セიმ)」が「サイム」になるのとか、「A (エイ)」が「アイ」になるというオーストラリア特有の違いは感じましたが、そんなにブリティッシュ感ありましたか？

＜山下祐輝＞「water」を「ウオタ」みたいな感じで発音していました。アメリカ英語だったら「ワラー」のように言いますよね。向こうでは、「ウオタ」とt (ティ)を残したような発音をしていました。そこはイギリス風かなど。

＜長澤教育長職務代理者＞「ウオタ」だったら日本語英語みたいな感じですね。

＜山下祐輝＞はい、それで向こうでも通じます。

＜武中＞でも、イギリス人がプライドを持っておっしゃる音とはやっぱり種類が違うなと感じました。ただ、アメリカ英語では全くないです。私も3日目くらいから脳が英語化していったのですが、夜いつも映画を家で観ていて、その時にアメリカ映画が

たまたまやっていて、すごく英語がしつこく聞こえてきて、こんなにしつこい英語をいつもやっていたんだと感じました。確かにどちらかというといギリスよりかなとは思いますが。

<山下祐輝>いわゆるイギリス英語とは、また違うという感じですか？

<武中>違いますね。

<山下祐輝>武中先生は、日本の中学校ではアメリカ英語を教えているんですか？

<武中>アメリカ英語を教えますけど、日本英語です。でも発音の種類というよりは強弱と抑揚、リズムをしっかりと押さえていけば、どんな発音でもいけるかなというのを感じます。

<長澤教育長職務代理者>さっき建物で平屋が多いって言ってましたが、やっぱり土地の関係ですか？日本は縦に長いでしょ？

<山下祐輝>そうですね、たぶん国土が広いからなんだと思いますが、1階建ての方がお金持ちみたいな感じに見えるようです。2階建ては安く見えるそうです。



<武中>地区によって全然違うって言うてたような気がします。

<結南>お金持ちが住む地区にドライブに連れて行ってもらいました。

<武中>私も連れて行ってもらいました。

<長澤教育長職務代理者>見た感じは全然違いますか？

<結南>そこまで変わらないです。

<武中>でも広さの規模が違います。特に庭がすごかったです。

<久木元教育長>全部移動は車ですよね？

<武中>はい。

<久木元教育長>歩いて行けるような感じじゃないですか？

<武中>ジョークで、帰る日朝が早いから一人で学校まで行くように言われたんです。歩いたら絶対一生到達しないなというぐらいです。歩かないですね。

<久木元教育長>夜、街は暗いんですか？

<武中>遅くまで明るかったです。

<山下祐輝>店は早く閉まるんじゃないですか？

<武中>木、金が遅くまで開いているようで、曜日によって開く時間が違うらしいです。21時とか22時には閉まるみたいです。

<長澤教育長職務代理者>山下さん、今回、引率者として行ってくれましたけど、これは希望ですか？それとも指名ですか？

<山下祐輝>

希望です。海外留学をしたことがなかったし、大人になってからホームステイを経験することで自分も成長できると思ったので希望しました。

<長澤教育長職務代理者>初めての経験だと思いますが、中学生と一緒にはどうでしたか？



<山下祐輝>まず、元気ですよ。元気だし、この子達だけかもしれないですが、度胸があります。知らない人にも空港で声かけてました。美人の外国人女性を見かけたら、写真撮らせてくださいと言って、美人日記に記録していくという遊びをしていました。そういうことをするのがすごいと思います。私が中学生の時だったらできていないと思います。

<土川教育委員>ジャーナリストになれそうですね。皆さんは、お土産を買われたと思いますが、お土産のいちおしは何ですか？自分の買った物で自慢の物を教えてください。

<結南>小さいコアラで、手足で物を挟め

て、だっこさせられる物が良かったです。あと、山下さんに買ってもらったみんなお揃いのバッジが一番のお気に入りです。

<土川教育委員>中筋さんはありますか？

<中筋>お菓子です。ティムタムやデイビーミルクというお菓子がとてもおいしかったです。チョコレートなんですけど、今でもめっちゃ大切に食べてます。

<土川教育委員>アメリカでそれを買うとちょっときつい色をしていて、甘すぎるみたいです。オーストラリアのそれはお気に入りでしたか？

<中筋>はい。美味しかったです。

<土川教育委員>徳弘さんは何かありますか？

<徳弘>ティムタムです。どんな味が分からない状態で、ずっと買おうとは思っていたんですけど、夜にテレビをホストファミリーと観てる時に、ホストファザーがくれたんです。これティムタムっていうんだよって。食べたら、すごく美味しかったです。

<土川教育委員>それは、何ですか？

<山田>ウエハースチョコレートのようなものです。

<山下祐輝>ビスケット生地みたいな物で、日本でも売られていますが、日本は味の種類が少なく、数種類しか置いていない

んです。オーストラリアは種類が多くて、20種類ぐらいあります。中学生は甘いのが好きなので、大量に買って帰って、ホストファミリーにあきれられるっていうのが定番のパターンです。

<山田>私はスーツケースの4分の1をティムタムで埋めて帰ってきました。オーストラリアでティムタム食べ過ぎて2キロ太りました。

<武中>私もティムタム20個買いました。私、お土産が買えない人で、みんなでランドルモール行った時も、ホストにお買い物しておいでって言われて、何も買わずに帰ったら、えーって引かれました。じゃあ、有名なティムタム買っとくわって思ったんですが、味が多すぎて分からない、でもスーパーにも長居したくないので、適当に入れていったら20個になりました。

<長澤教育長職務代理者>山下さん、さっきソーセージを家で作ると言っていましたね。皆、家で作ってるんですか？それは、ミルみたいなのを回して、そういう機械が置いてあるわけですか？

<山下愛紗>いえ、ホストファミリーの家は、家庭用みたいなやつで羊の腸を鉄砲みたいなので、肉をおわーって入れて、そしてチョコキンって端っこの方をちょん切って、ゆでたら完成という感じでした。



<長澤教育長職務代理者>他の家はどうですか？

<研修生>無かったです。

<長澤教育長職務代理者>じゃあ、たまたまそういう家だったんですね。

<山下祐輝>私もベーコンとかハムをよく食べたので、燻製自体が、もしかしたら日本より身近なのかもしれません。

<武中>生ソーセージめっちゃ売ってましたよ。

<長澤教育長職務代理者>生ということは、ゆでる前の物ですか？

<武中>はい。なので、すごく火が通りづらいんです。初日は、外で、ホストのケイトと二人でバーベキューすることになったのですが、何人分あるのか分からないぐらい焼きました。量がとにかくすごくて、たくさん食べるんですけど、オーストラリアの食べ物って太らないんです。

<山下祐輝>私はずっと胃が痛くて、4日間ぐらい昼ご飯が食べれなかったです。朝と夜も減らしてもらいました。コーヒーも飲めないですって言って、水を飲んでいま

した。料理は美味しくて、凄くよくしてもらったんですけど、食べられなくて申し訳なかったです。4日目からは食べられるようになりました。

<久木元教育長>緊張してたんですね。

<山下祐輝>そうですね。

<土川教育委員>そのとき日本は37℃でとっても暑かったんですよ。良かったですね。

<武中>もう、本当に一番いい時期に行かせていただいたなと思います。言われるほど寒くは無かったです。コートとか別になくてもいけました。アウターをいっぱい持って行ったんですけど、全然使わなかったです。

<長澤教育長職務代理者>過去6回の派遣生の中には、これがきっかけで英語の世界に入って、大学で英語を専攻してるということを知ります。皆さんはどうですか？また、そういう所に住みたいと思いますか？

<結南>英語が重視される国に行きたいです。理系なんですけど、英語も大事かなって思います。

<長澤教育長職務代理者>理系に進んでも仕事で英語必要ですもんね。

<中筋>私も行きたいです。ダンスを習っているんで、アメリカ行ってダンス留学を試みたいし、人の役に立つ仕事に就いて

みたいです。いとこのお母さんがそういう関係の仕事をしています。今、コスタリカでスペイン語の通訳みたいなことをしていて、かっこいいなと思って、自分もやりたいと思いました。

<久木元教育長>ホストファミリーの人たちは、連絡取っていますか？

<中筋>ホストファミリーは、インスタグラムで連絡を取りたかったんですけど、やってないと聞いたので、クリスマスや正月に手紙書いて送ろうかなって思っています。

<久木元教育長>バディとは連絡取ってますか？

<中筋>はい、バディは今でも連絡取っています。

<久木元教育長>英語で送ってるんですか？

<中筋>英語で送ってます。

<研修生>えーすごい。



<結南>私は、バディは連絡先渡したんですが、全然返事が来ないです。忘れられているのかもしれないです。でも、お父さんのフェイスブックとマザーのフェイスブッ

クと繋がっているのです、よくいいねを押してくれたりしています。

＜山田＞フェイスブックをやってないので、いつか手紙を送ろうかなって思います。

＜山下祐輝＞他にございますか？それでは、そろそろ時間となりましたので、帰国後交流会を終わりにしたいと思います。皆さん、たいへん貴重なご意見ありがとうございました。とても参考になりました。研修生の皆様は、今回の研修を財産にして、今後の人生に向けて活かして行って欲しいと思います。ありがとうございました。武中先生からは何かありますか？

＜武中＞私も頑張ります。通訳くらい英語を話せたらいいなと思っているんです。

＜山下祐輝＞ちなみに武中先生は来年も行きたいっておっしゃっています。

＜武中＞でも、2回目となるとよほどの英語力が無いといけないので、きちんと準備をできる人間になろうと思います。

＜山下祐輝＞それでは、今日は皆様ありがとうございました。

